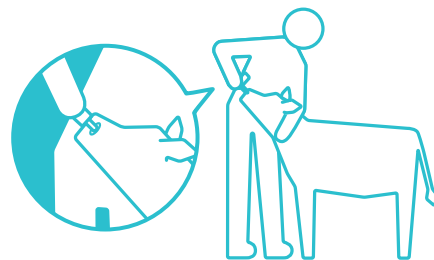


TSV-2使用に当たっての 7つのポイント



より効果的にTSV-2をご利用いただくために、
使用に当たっての注意点をまとめました。
正しいご利用方法により、高い効果をご実感ください。

効果

- 1 粘膜免疫機能への刺激(IgAやインターフェロンの鼻腔内における発現)は速やかに現れ、1週間程度持続します。
- 2 その後、IgGが産生され、少なくとも4ヵ月は防御効果を維持します。

投与

- 3 感染予防のため、滅菌したシリンジを用いて1頭ごとに交換して投与してください。
- 4 子牛の場合、清潔にした指や哺乳瓶などを吸わせながら投与すると簡便です。
- 5 生ワクチンであるため、溶解後は速やかにご使用いただき、凍結は避けてください。

その他

- 6 BRDCの総合的対策には、TSV-2の他に注射型ワクチン(ウイルス・細菌)の使用をお勧めします。
- 7 投与時期例: ストレスのかかる時期(離乳・除角・去勢・移動など)、子牛の時期、緊急予防時